



Title	デザイン理論 38号 投稿規程/執筆要領/編集後記/ 奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 1999, 38, p. 105-106
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/52831
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正、昭和60年11月8日改正、
平成2年11月10日改正、平成6年7月9日改正

- 内 容：デザインに関する未発表の論文、研究報告。
- 投稿資格：本会会員。
- 採 択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
- 査 読：論文については、編集委員会が査読者2名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は、(A)無条件

採用、(B)条件採用、(C)不採用とする。査読期間は2ヶ月とする。

- 執筆要領：別に定める。
- 提出期限：論文は隨時、研究報告等は8月末日。
- 提出先：意匠学会編集委員会。
なお、以上の規程は、平成6年7月9日より発効する。

「デザイン理論」執筆要領

平成6年6月4日 編集委員会決定

1. 原 稿：

原稿は400字詰め横書原稿用紙に横書きとする。
ワープロで作成する場合は、A4大の紙に1行40字、1頁30行程度で作成すること。
査読論文の場合は最終原稿とともに、また、研究報告等は原稿提出時に、フロッピー(機種、ソフト等を明記)も提出すること。
いずれの場合も、提出に際しては、コピーをとって手元に保存すること。

また、所定の割付用紙に割り付けを行なって、原稿とともに提出すること。割付用紙は必要に応じて各自コピーすること。

2. 原稿の分量：

分量は学術論文と研究報告はともに、図版、図表、注などすべてを含めて、刷上りで、14頁以内とする。(400字詰原稿用紙では約45枚である)。紙上発表は8頁以内、発表レジメは2頁とする。

3. 原稿の構成：

原稿には、表紙、本文、注、および学術論文と研究報告には欧文(原則として英文)要約、キーワードを付すこと。

表紙には、表題、著者名(ふりがな付き)、所属機関名を和文と欧文(原則として英文)で書くこと。

欧文要約は、刷上り1頁とする。語数は約200語。必ず、タイプライターまたはワープロで作成すること。また、できる限り、当該言語を母国語とする人の校閲をえておくこと。

キーワード(和文および英文)は、それぞれ5語以内とする。

4. 図・表のレイアウトなど：

図版はモノクロームとし、位置の指定、大きさ、レイアウト、必要なトリミングなどはすべて執筆者が行なうこと。レイアウトなどには学会指定の割付用紙で行なうこと。

図版などの著作権の問題があると思われる場合は、執筆者自身が事前に許可をとておくこと。当学会は著作権についての責任は負わない。